

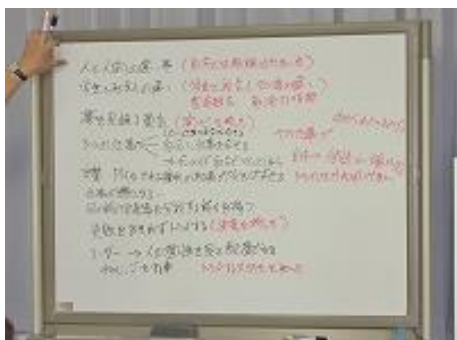
高校ベンチャー留学2013～第7期生～

東京の社長に会いに行こう！この4日間の出会いがあなたの人生を変える！

★期 間 平成25年8月5日（月）～8月8日（木）
 ★参 加 今治市の高校生 6名
 ★内 容 8月5日（月）～8月7日（水） 東京
 ふるさと企業2社、日本でいちばん大切にしたい会社へ選ばれた3社へ訪問。

8月8日（木） 愛媛
 今治地域地場産業振興センターにて成果発表会

プログラム

タイムスケジュール	
2013年8月5日（月） 高校ベンチャー留学 1日目（東京）	
時間	内容
【留学ゼミ1】 14:00～ 15:00	アニコム損害保険株式会社へ訪問 代表取締役社長/小森 伸昭 氏  
16:15～ 17:45	【ふりかえりディスカッション】  

時間	内容
【留学ゼミ2】 9:30~ 11:00	コンテンツワークス株式会社へ訪問 代表取締役社長/荻野 明彦 氏  
【留学ゼミ3】 13:00~ 14:30	株式会社パイブドビッツへ訪問 代表取締役社長/佐谷 宣昭 氏  
【留学ゼミ4】 15:30~ 17:00	株式会社ゲットイットへ訪問 代表取締役/廣田 優輝 氏  
17:45~ 19:15	【ふりかえりディスカッション】  

2013年8月7日(水) 高校ベンチャー留学 3日目(東京)

時間	内容
【留学ゼミ5】 10:00~ 11:30	サイボウズ株式会社へ訪問 代表取締役社長/青野 慶久 氏
	 

2013年8月8日(木) 高校ベンチャー留学 4日目(今治)

時間	内容
【成果発表会】 14:00~15:00	東京で出会った社長との対話で、自分の目指す将来には何が必要かを深く考え、目的達成のための計画表「自分プロジェクト」を作りました。それをプレゼン形式でコメンテーターの方や保護者の方の前で発表しました。
	   

高校ベンチャー留学に参加して、東京の社長さんとお会ってどう感じましたか？

 今治北高等学校 3 年生 岡田 直己くん	私は ICT に興味があり、グループウェアを開発、運営されているサイボウズ株式会社さんに訪問させていただくことはとてもいい経験になりました。特に、テストについてはとても参考になり、ぜひ実践したいと思います。 また、グループウェアを扱っているのでチームワークに重点を置いた会社づくりを目指されているようです。 その中でも社長自らが進んで育児休暇を取るといった行動は、子供の将来と、これからの社会的な常識へ、という意味で未来につながる素晴らしい行動だと思いました。
 今治東中等教育学校 6 年生 鶴田 嶺人くん	CEO である佐谷氏の出身が今治ということで少し身近感を感じていました。佐谷氏と初めてお会いした際の、一瞬で CEO と感じさせる風格には圧倒されました。 様々な目的を持って一日一日を過ごしている私たちベンチャー留学生にとって、佐谷氏がおっしゃられた「たまたまの奇跡が重なった結果、成功もある。成功者の今は偶然の重なり。」という言葉は、その「たまたまの奇跡」を重ねていけるように、日々一生懸命生活していかなければいけないと改めて感じさせられるものでした。
 今治北高等学校 2 年生 羽藤 真子さん	アニコム損害保険株式会社の小森社長さんのお話で、一番心に残っている言葉があります。 それは、私が経営者にとって最も必要なことは何ですか？と質問した時に「夢を見続ける勇気を持つこと。」と答えてくれたその言葉です。 歳を重ねていくにつれて、夢をみるのが難しくなってしまうと思います。でも、夢をみていないと会社の成長もなくなってしまうと聞いて、とても納得しました。私もこの言葉を胸に夢をみることを、挑戦することを諦めずにやっていきたいと思います。
 今治北高等学校 2 年生 富田 涼花さん	株式会社パイブドビッツの佐谷社長さんのお話で、挑戦についてのお話の時に出てきた「アイディアが良ければ誰にでも出来る。あなたがやらなきゃいけない理由、奇跡性のあるものを大事にしたい。」という言葉が一番印象に残りました。 奇跡的な理由とは、その人がどのように生きてきたかが表れる個性のことだそうです。高校生の間にユニークなことに挑戦していき、その挑戦からいろいろな人と出会い縁を広げていきたいです。そして、その挑戦した経験を武器に社会に出ていきたいと思いました。
 今治北高等学校 1 年生 山浦 良輔くん	人生は楽しいことばかりではなく、辛いことや苦しいことに何度も出会います。それをマイナスに捉えるのではなく、良い経験であると思えることが大きな成長につながることをコンテンツワークス株式会社さんで学びました。 また、この会社では社員のことを一番に考えているそうです。相手を大切にしてい、思いやれることで信頼関係が生まれ、良い仕事ができるのだと思いました。これからの高校生活では、困難なこともあると思いますがその苦勞を糧として成長できるように努力をしていきたいです。
 今治西高等学校 1 年生 越智 詩織さん	サイボウズ株式会社の社長の青野慶久さんが、現在私の通っている今治西高等学校の卒業生ということもあり、今回のベンチャー留学で一番楽しみにしていた企業でした。沢山の貴重なお話の中で、一番印象に残っている言葉があります。 それは「物事は良いか悪いかではなく、どうしたいかで決める」という言葉です。普段、良いか悪いかという視点にばかり偏って、自分がどうしたいかは抑えていた私にとって深く胸に刺さりました。これから文理選択や進路選択があるので、自分自身に素直になって選びたいです。

高校ベンチャー留学新聞 2013

2013.8/5～8/7 in東京

第7期生

主催：一般財団法人今治地域地場産業振興センター

「高校ベンチャー留学」とは

今治市内に在住もしくは今治市の高校に在学の高校生を対象としたプログラムです。東京のベンチャー企業やふるさと企業を訪問し、社長と交流の場を設け、仕事に対する熱い思いや学生時代のお話、そして高校生の夢に対するアドバイスから激励まで社長と高校生が本気で語り合い、自分の将来を考えるきっかけをつくります。

愛媛ふるさと企業

サイボウズ株式会社 代表取締役社長／青野 慶久 氏

サイボウズ株式会社の社長の青野慶久さんが、現在私の通っている今治西高等学校の卒業生ということもあり、今回のベンチャー留学で一番楽しみにしていた企業でした。沢山の貴重なお話の中で、一番印象に残っている言葉があります。それは「物事は良いか悪いかではなく、どうしたいかで決める」という言葉です。普段、良いか悪いかという視点にばかり偏って、自分がどうしたいかは抑えていた私にとって深く胸に刺さりました。これから文理選択や進路選択があるので、自分自身に素直になって選びたいです。（越智詩織）

私はICT(情報通信技術)に興味があり、グループウェアを開発、運営されているサイボウズ株式会社さんに訪問させていただくことはとてもいい経験になりました。特に、ユーザビリティテストについてはとても参考になり、ぜひ実践したいと思います。また、グループウェアを扱っているのでチームワークに重点を置いた会社づくりを目指されているようです。その中でも社長自らが進んで育児休暇を取るといった行動は、子供の将来と、これからの社会的な常識へ、という意味で未来につながる素晴らしい行動だと思いました。（岡田直己）



上左から

今治北高等学校3年生 岡田直己くん
サイボウズ株式会社 代表取締役社長 青野慶久 氏
今治東中等教育学校6年生 鶴田嶺人くん
今治北高等学校1年生 山浦良輔くん

下左から

今治北高等学校2年生 富田涼花さん
今治西高等学校1年生 越智詩織さん
今治北高等学校2年生 羽藤真子さん



私が一番心に残っているのは「チームワークが大切だ」という言葉です。学校生活においてもチームワークはなくてはならないものです。チームワークを良くするためには、まず相手を理解し、信頼し、コミュニケーションをとることが大切です。そこから刺激を受けたりしてやる気が起こってきます。学校でも会社でも周りの人達に支えられて初めて自分が生かされるのだと思います。自分自身が持っているものを最大限に発揮できる人間になるために、一日を大切にしてお有意義に過ごしていきたいと思っています。

（山浦良輔）



株式会社パイブドビッツ 代表取締役社長／佐谷 宣昭 氏

株式会社パイブドビッツの佐谷社長さんのお話で、挑戦についてのお話の時に出てきた「アイデアが良ければ誰にでも出来る。あなたがやらなきゃいけない理由、奇跡性のあるものを大事にしたい。」という言葉が一番印象に残りました。奇跡的な理由とは、その人がどのように生きてきたかが表れる個性のことだそうです。高校生の間にユニークなことに挑戦していき、その挑戦からいろいろな出来事や人と出会い、縁を広げていきたいです。そして、その挑戦した経験を武器に社会に出ていきたいと思いました。(富田涼花)

株式会社パイブドビッツの佐谷社長さんのお話で、一番印象に残っているのは、「挑戦をする時に誰が聞いても納得してしまうものはだめだ。」と言われたことです。誰もが納得してしまうものは成功しない。奇跡性があるって本当に自分にしかできないことをする。その時は成功する。」と言われました。誰もがどうなるのか分からない、反対意見もある、奇跡性もある、そういうものに挑むことが本当の意味で挑戦なんだと思いました。私も自分にしかできないことを見つけていきたいです。

(羽藤真子)

日本でいちばん大切にしたい会社

コンテンツワークス株式会社 代表取締役社長／荻野 明彦 氏



人生は楽しい事ばかりではなく、つらい事や苦しい事に何度も出会います。それをマイナスに捉えるのではなく、良い経験であると思える事が、大きな成長につながるとコンテンツワークス株式会社で学びました。また、この会社では社員のことを一番に考えているそうです。相手を大切に、思いやれることで信頼関係が生まれ、良い仕事ができるのだと思いました。これからの高校生活では、困難もあると思いますが、その苦勞を糧として成長できるように努力をしていきたいです。

(山浦良輔)



CEOである佐谷氏の出身が今治ということで少し親近感を感じていました。佐谷氏と初めてお会いした際の、一瞬でCEOと感じさせる風格には圧倒されました。

様々な目的を持って一日一日を過ごしている私たちベンチャー留学生にとって、佐谷氏がおっしゃられた「たまたまの奇跡が重なった結果、成功もある。成功者の今は偶然の重なり。」という言葉は、その「たまたまの奇跡」を重ねていけるように、日々一生懸命生活していかなければいけないと改めて感じさせられるものでした。(鶴田嶺人)

「会社に愛されていないと思っている人がなぜ会社を愛せるだろうか」この理念のもと、育児、介護休暇や表彰制度などいろいろな事に取り組んでいるところに感動しました。物事には必ず正解はないし、間違いもない。一番大切なのは自分で何を選択していくかということ学びました。これから先にも、たくさん分からないことや迷うこともあると思いますが、人に言われたことをするのではなく、自分自身で道を決めていきたいです。

(富田涼花)



株式会社ゲットイット 代表取締役／廣田 優輝 氏



廣田社長の「経営者は求めるのではなく与える」という言葉を聞いた時、先に訪問させていただいた会社の社長のお話と似ているなと思いました。「利他的な思いから全てが始まる」と表現されていましたが、たしかにその通りだと思います。私はこのことから「感謝し、感謝される人間になろう」と考えました。自己犠牲や福祉活動とは違いますし、見返りを求めて行動するわけでもありません。与えたうえで与えられる、そのような人になりたいと思います。(岡田直己)

廣田優輝社長のお話を聞いてまず思ったのは、「お話がすごく分かりやすいな」ということです。難しい説明は一切なく、社長が今に至るまでのプロセスに重点が置かれていて、すごく楽しみながら理解できました。私は今まで、失敗はともかく挫折なんてとんでもないと思っていました。でも「世の中には成功か挫折しかない」という言葉を聞いて、吹っ切れた気がします。挫折も、成功への道の一部なんだと思えるようになりました。奥の深いお話ばかりで、ものすごくためになりました。

(越智詩織)



アニコム損害保険株式会社 代表取締役社長／小森 伸昭 氏



アニコム損害保険株式会社の小森社長さんのお話で、一番心に残っている言葉があります。それは、私が「経営者にとって最も必要なことは何ですか。」と質問した時に、「夢を見続ける勇気を持つこと」と答えてくれたその言葉です。歳を重ねるにつれて、夢を見ることが難しくなってしまうと思います。でも、夢を見ていないと会社の成長もなくなってしまうと聞いてとても納得しました。私もこの言葉を胸に夢を見ること、挑戦することを諦めずにやっていきたいと思います。(羽藤真子)

今回のベンチャー留学で一社目に訪問させていただいたのがアニコム損害保険株式会社さんでした。社長である小森氏のお話は、考えが深く広くといった感じで、頭の中で処理するのが大変なほどでした。小森氏を支える周囲の方々も、しっかりと自分を持たれていて、さすがだなと未熟ながらに思いました。

常務取締役の百瀬氏の、「したい仕事に自分を合わせる。自分に仕事を合わせる。又は仕事を自分でオーダーメイドしてしまう。」という言葉に、自ら会社を立ち上げるという選択肢もあるという風に聞こえ、背中を押されたようで、私にとって最も心に残った言葉でした。(鶴田嶺人)



成果発表会

2013.8/8 in 今治

東京で出会った社長との対話で、自分の目指す将来には何が必要か深く考え、目的達成のための計画表「自分プロジェクト」を作りました。それをプレゼン形式でコメンテーターの方や保護者方の前で発表しました。



森 智子 氏 壺内 和彦 氏

今回5社の企業を訪問しましたが、それぞれの社長達から聞いたエピソードは大変興味深いものでありました。どの企業にも共通して言えることは社長がお客様だけでなく、社員をとっても大切にする事で、この点は生徒個々に強く響いていたと思います。

最終日の成果発表会ではコメンテーターの壺内様(株式会社つば吉 代表取締役)、森様(株式会社森のともだち農園 代表取締役)から実体験を交えたコメントを頂き、自分の将来と照し合わせていた姿を見てこの3日間で本当に成長したと感じました。普段の生活では体験できない事を体験させてくれた社長様方に感謝の気持ちを忘れず、この高校ベンチャー留学で学んだ事を今後の人生に活かしてほしいと思います。

(今治地域地場産業振興センター 神野)

参加した高校生6名の真剣さと資質の高さを感じた3日間でした。会社とは何を目的としているのか、会社は継続するためにあると教えてくれたコンテンツワークスの荻野社長、勇気を持ち続けることと教えてくれたアニコム損害保険の小森社長、世の中は成功するかあきらめるしかないと教えてくれたゲットイットの廣田社長、日本でいちばん大切にしたい会社を目指している三社三様の言葉から次世代経営を学んだことでしょう。

また、今治出身のパイプドビッツの佐谷社長、サイボウズの青野社長は目線を高校生に合わせて語りかけ、高校生の人生への疑問に答えていただきました。参加した高校生は経営者の言葉を受け止め自分の中で消化したことでしょう。私が担当した、ふりかえりとシェアワークでも緊張感が残っていた高校生でしたが、言葉を引き出し、プレゼンに向けて考え抜いた結論が出せました。プレゼンによる宣言を發したこの夏休みはきっと今後の人生で振り返るときに思い出される貴重な経験になると思います。

(株式会社リージョナルデザイン 代表取締役 安孫子 尚正 氏)

目標も決まったし、更に頑張ろう！



※2013.8/13の愛媛新聞に成果発表会の様子が掲載されました。